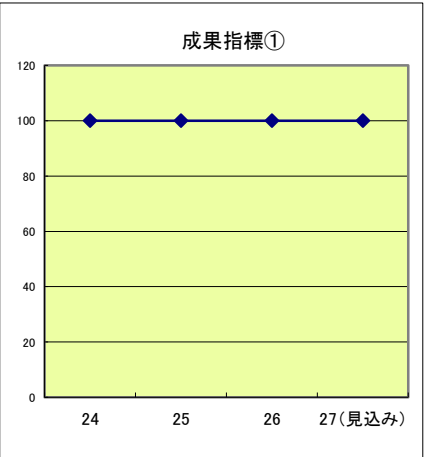
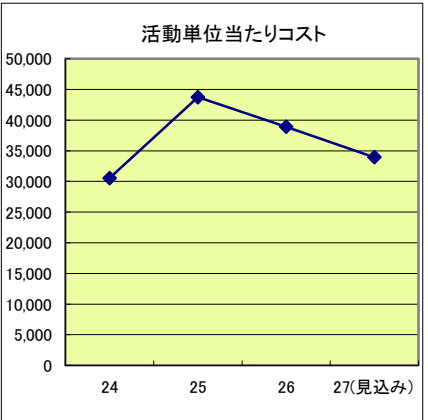


事務事業名			公園・児童遊園維持管理業務	予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		款	8	土木費
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化		項	1	土木管理費
	施策の方向	(3)	身近な公園の管理体制の充実		目	2	維持管理費
関連する計画等				作成部署	土木部維持管理課		
				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2911		
事業の概要(目的・内容)				①公園維持管理に関する苦情等の対応 ②遊具等の点検・修繕 ③公園・緑地等の清掃・草刈り・樹木剪定及び防虫 ④公園パトロール			
根拠法令等				都市公園法			
事業期間				☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）			
事業開始時から の状況変化				遊具等の劣化に伴い撤去や修繕件数が増加傾向にある。			
実施手法				☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()			
委託先				☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター) ☒ 民間委託 ☐ その他			
				委託内容	剪定・草刈り等		

区 分		24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		5,920	6,679	6,272	6,741
人件費【2】 (千円)		13,470	15,800	12,370	11,665
職員数	正規職員	1.30 人	1.50 人	1.00 人	1.00 人
	再任用職員	0.50 人	0.50 人	0.50 人	人
	嘱託職員	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
	臨時職員・非常勤職員	0.50 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		19,390	22,479	18,642	18,406
財源内訳	国庫支出金 (千円)				
	府支出金 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他(使用料・手数料等) (千円)				
一般財源【B】 (千円)		19,390	22,479	18,642	18,406
活動指標(事業の活動実績)【C】 単位		24年度	25年度	26年度	27年度 (見込み)
① 作業実施件数		635	514	479	542
②					
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		30,535 円	43,733 円	38,919 円	33,959 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		30,535 円	43,733 円	38,919 円	33,959 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		166 円	193 円	161 円	161 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			15.9 % ▲	17.1 % ▲	1.3 % ▲
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓) ※該当項目すべてに✓		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☒ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	① 作業実施率 (式又は説明) 作業実施件数÷作業依頼件数×100	目標		100	100	100	達成率(%) 100
		実績		100	100	100	100.0%
	② (式又は説明)	目標					達成率(%)
		実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○		○						

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	公園は環境や防災の観点から市民にとっては重要な施設であり、公園を維持管理することは必要である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	簡易な修繕は職員で迅速に対応し、それ以外のものについては外部委託することにより経費節減に努めている。今後、民間への委託を拡大することにより、事務処理の効率化と経費節減を図ることが可能と考える。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	公園の清掃は地元住民の協力を得て実施しており、今後も市民協働による管理を推進していく必要があると考える。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	依頼・苦情に対して迅速に対応しており、安全管理を含め適切に管理している
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	市民の憩いの場所である公園を安全かつ快適に利用できる施設として継続的に維持管理する必要がある、しかしながら市内には非常に多くの公園施設があり直営のみで管理する事は困難と思われるので手法等については道路公園課と協議し検討していく必要があると考える。 今後も、適切な維持管理に努めるとともに、地域住民が公園作りや管理運営に幅広く参加できるように仕組みを関係課と一緒に検討していきたい。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止	